

課題名

28. チャノキイロアザミウマの指標植物による発生時期の予測について

成果の要約

第1世代幼虫から第3世代幼虫までの各世代の成虫と幼虫の発生最盛期は、越冬成虫の指標植物上の発生最盛期とステージ別の発育の有効積算温度から予測できる。

第1表 寄生樹種別の各世代幼、成虫の発生ピーク

寄生樹種	越冬成虫 ピーク	第1世代幼虫 ピーク	第1世代成虫 ピーク	第2世代幼虫 ピーク	第2世代成虫 ピーク	第3世代幼虫 ピーク
チャ	4.5	5.1~5.6	5.15~5.21	5.31	6.14	7.2
ナシ			5.21	6.5	6.14	6.27
ブドウ			5.21	5.31	6.14	
カキ			5.21	6.5		
ネーブル	4.1~4.5			5.31		
アマナツ					6.14	6.27
その他カンキツ						6.27
サンゴジュ	4.5	4.25				
イヌマキ			5.21	6.5	6.14	
イヌツゲ			5.21	6.5	6.14	
マサキ	4.1	5.1	5.15	5.27		
カナメモチ	4.15	5.1				
メラノキシロアザミ					6.14	6.27
イスノキ	4.5	5.6				
サクランボ	4.20	5.1	5.15			
モミジイチゴ	4.1	5.1				
	4.1~4.5	5.1~5.6	5.15~5.21	5.31~6.5	6.14	6.27

成

績

概

注) 越冬成虫 初発 3月22日 マサキ、ゴマキ、ノイバラ
 第1世代幼虫 " 4月20日 マサキ、モミジイチゴ、サクランボ、カナメモチ、ネーブル
 第1世代成虫 " 5月11日 チャ、イヌマキ

要

第2表 有効積算温度による各世代幼虫、成虫の発生最盛期の予測（1985）

世 代	a)		予 測 値
	寄生植物上の実測値		
越冬世代成虫ピーク	4月 1日	4月 5日	-
第1世代幼虫 "	5・ 1	5・ 6	5月 4日
第1世代成虫 "	5・15	5・21	5・17
第2世代幼虫 "	5・31	6・ 5	6・ 3
第2世代成虫 "		6・14	6・13
第3世代幼虫 "		6・27	6・27

a) 調査樹種 16種

b) 島根農験(1981)による。ただし産卵前期間は無いものと仮定、幼虫発育期間は1令→成虫期間の1/3有効日数とした。

(昭60長崎果試)

成

績

概

要

普及上の留意点

発生予察の精度が向上する。現地への予察情報の的確な伝達が要求される。